

主催：明治学院大学国際学部附属研究所  
共同研究『企業の社会的責任と市民の社会的関与の研究(The Study of CSR and Civic Engagement)』

共催：Mekong Migration Network (MMN)  
The project of "Beyond 'Tolerance'- Working Hand-in-hand to Promote the Social Inclusion of Migrants and Their Families"  
(2015年度トヨタ財団助成事業)

2016年度プロジェクトセミナー

# “寛容”を超えて

## 移民と移民家族の社会包摂のための協働

### Beyond "Tolerance"

Working to Promote the Social Inclusion of Migrants and Their Families

2016年7月22日(金) 16:45-19:15

明治学院大学横浜キャンパス 8号館2階 823教室  
(<http://www.meijigakuin.ac.jp/access/index.html>)

グローバル化が進展している現在、日本で生活する私たちの食料、衣類、家具、電子機器など多くのモノはメコン流域諸国(タイ、ミャンマー、カンボジア、ベトナム、ラオス、中国雲南省)とサプライチェーンで密接につながっています。そしてその裏には、経済的、政治的に安定した生活のために、故郷を離れて働き、生活を営む人々がいます。しかし、移民や難民として移住した人々は移住先で社会的に排除されやすく、社会包摂のための協働が必要です。本セミナーでは、タイ、ミャンマー、カンボジアでグローバル・サプライチェーンや移民の社会包摂のための国を超えた市民活動ネットワーク「メコン移住ネットワーク」からの報告と、日本一とくに明治学院大学国際学部が所在する横浜市一における移民・難民の支援現場の報告から、日本に住む私たちの足元からのグローバル化の課題を考えます。

#### <第1部> グローバル化の中のメコン河流域諸国と日本

報告1 **「グローバル・サプライチェーンと移住労働者」**

ブラム・プレス (Director of MAP Foundation)  
針間礼子 (Regional Coordinator, Mekong Migration Network)

報告2 **「タイのカンボジア人労働者とシーフード」**

ソクチャー・モム (Area Director, Legal Support for Children and Women)

報告3 **「ミャンマー人技能実習生—日本への期待と失望」**

テト・テト・アウン (88 Generation Peace and Open Society)

#### <第2部> 日本における移民・難民支援の現場から

報告4 **「移住者の日本における社会包摂  
—女性と子どもの支援の現場から見える課題」**

新倉久乃 (特定非営利活動法人女性の家サーラー理事)

報告5 **「在日インドシナ難民の現在—現場からの声」**

トルオン・ティ・トウイ・チャン (横浜市泉区生活相談員、ベトナム語通訳)

司会者 齋藤百合子 (明治学院大学国際学部准教授、共同研究代表者、MMNプロジェクトメンバー)

\* 入場無料・申し込み不要  
*No Reservation Required*

\* 報告は日本語と英語で行われます (逐次通訳あり)  
*The lecture will be conducted in Japanese and English.*

\* 問い合わせ先：国際学部附属研究所 TEL. 045-863-2267 (受付時間：平日10時-17時)

